

2026年12月期
第2四半期
決算説明資料

2026年8月26日
株式会社やまびこ

1. 2026年12月期 第2四半期 決算概要 3

2026年12月期 第2四半期 経営成績	4
セグメント別経営成績	5
売上高実績（セグメント・地域別）	6
連結売上高および連結営業利益の増減	7
四半期別業績推移	8

2. 2026年12月期 業績予想 9

2026年12月期 通期予想	10
連結売上高のセグメント別増減予想（円換算ベース）	11
連結営業利益の増減予想	12
設備投資・研究開発費・減価償却費	13
株主還元政策	14
トピックス	15
やまびこの存在意義	16

APPENDIX 17

会社概要	18
やまびこの歩み	19
業績推移と売上構成	20
事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）	21
事業セグメント：農業用管理機械	22
事業セグメント：一般産業用機械	23
ECHOを中核とするブランドポートフォリオ	24
OPE市場規模	25
国内生産体制	26
海外生産体制	27
販売体制	28
主要販売子会社：やまびこジャパン株式会社	29
主要販売子会社：エコー・インコーポレイテッド	30
主要販売子会社：やまびこヨーロッパ・エス・エイ	31
主な販売経路	32

1

2026年12月期 第2四半期 決算概要

- 売上高は前年同期比で増加。北米市場において、OPE※がホームセンター向けを中心に伸長したほか、一般産業用機械は大手レンタル会社向けに発電機の販売が大きく伸長。欧州市場でも、ロボット芝刈機の販売が寄与。
- 損益面では、米国関税の還付による原価率改善に加え、売上高の増加や為替影響により、営業利益が増益。これに伴い、経常利益および最終利益も増益。

為替レート

通貨	25/12期 2Q	26/12期 2Q	前年 同期比(%)
1ドル	148 円	158 円	+6.7
1ユーロ	162 円	185 円	+13.7

売上高
103,782 百万円
前年同期比 +13.7%

営業利益
16,086 百万円
前年同期比 +37.0%

親会社株主に帰属する
四半期純利益
11,578 百万円
前年同期比 +54.2%

(百万円)	25/12期 2Q 実績	構成比 (%)	26/12期 2Q 実績	構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	91,288	100.0	103,782	100.0	+13.7
売上原価	59,972	65.7	66,989	64.5	+11.7
販管費	19,572	21.4	20,705	20.0	+5.8
営業利益	11,743	12.9	16,086	15.5	+37.0
経常利益	10,786	11.8	16,510	15.9	+53.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,508	8.2	11,578	11.2	+54.2

売上高

(百万円)

セグメント	25/12期 2Q	26/12期 2Q	前年比 (%)
合計	91,288	103,782	+13.7
小型屋外作業機械	70,211	79,477	+13.2
一般産業用機械	6,874	10,590	+54.1
農業用管理機械	12,935	12,547	▲3.0
その他	1,267	1,167	▲7.9
(調整額)	-	-	-

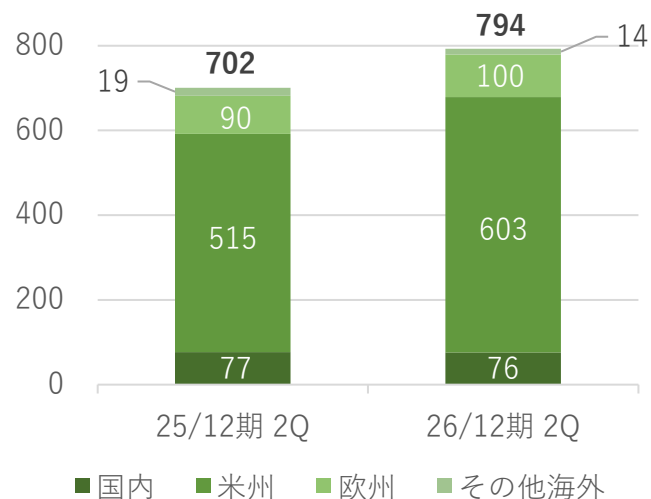
営業利益

(百万円)

セグメント	25/12期 2Q	26/12期 2Q	前年比 (%)
合計	11,743	16,086	+37.0
小型屋外作業機械	15,796	19,448	+23.1
一般産業用機械	769	1,406	+82.7
農業用管理機械	139	338	+142.3
その他	350	325	▲7.2
全社共通費	▲5,313	▲5,432	▲2.2

売上高実績（セグメント・地域別）

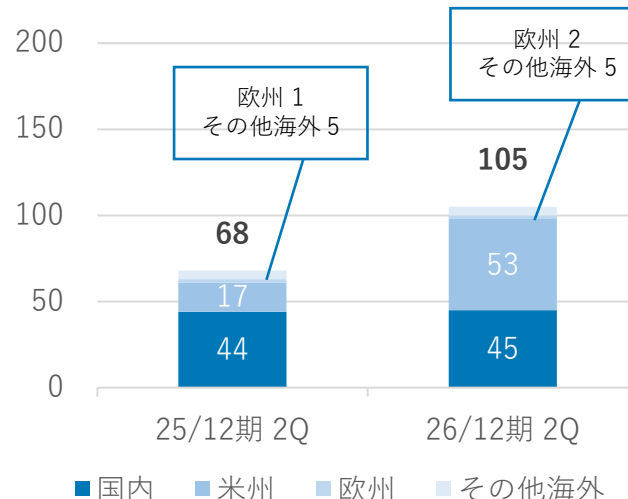
小型屋外作業機械（OPE）



地域	前年同期比
国内	▲1.1%
米州	+9.8%
（うち北米）	(+10.7%)
欧州	▲2.2%

※海外地域の前年同期比は為替影響を除く

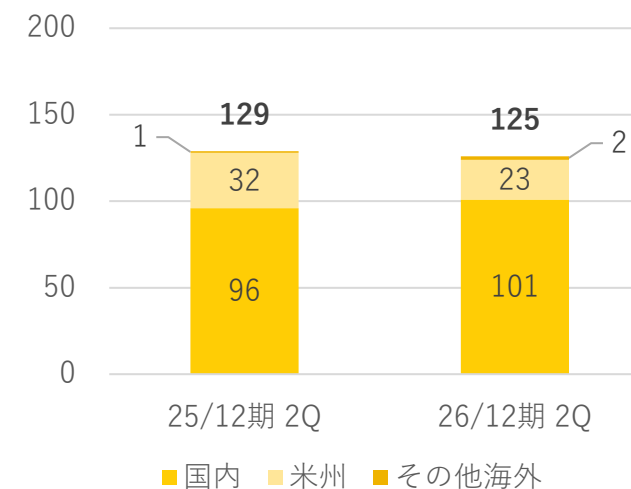
一般産業用機械



地域	前年同期比
国内	+3.2%
米州	+192.0%
（うち北米）	(+189.1%)

※海外地域の前年同期比は為替影響を除く

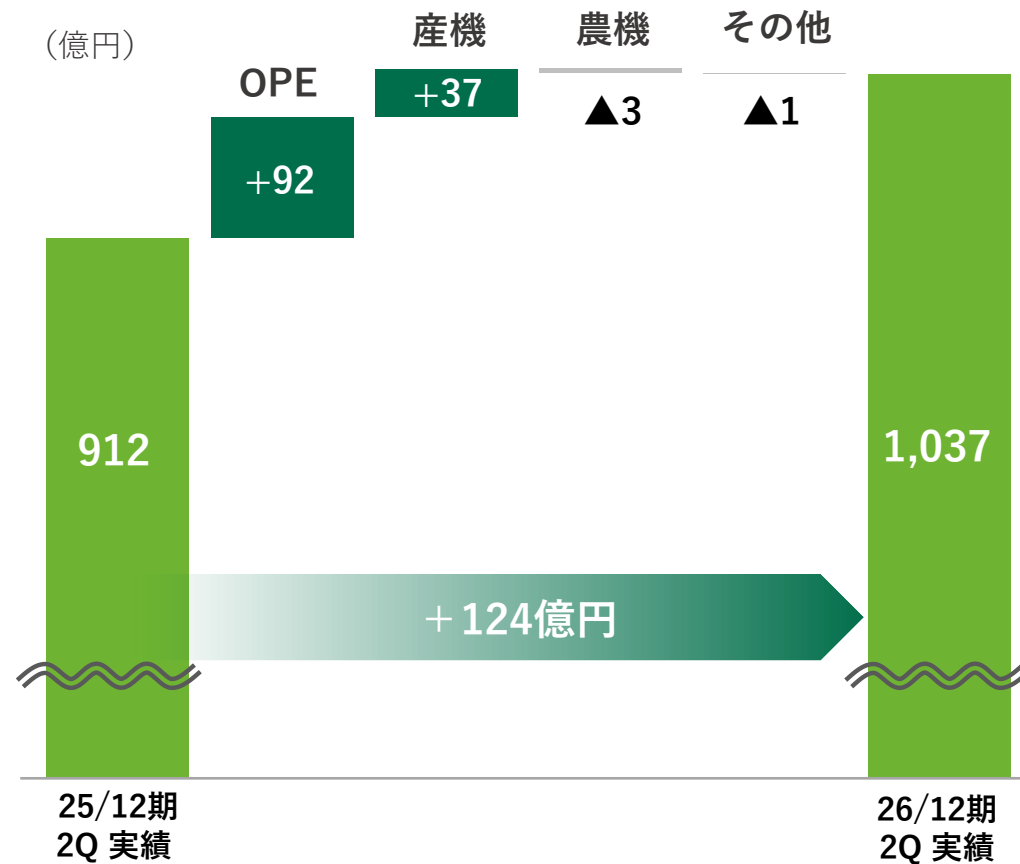
農業用管理機械（単位：億円）



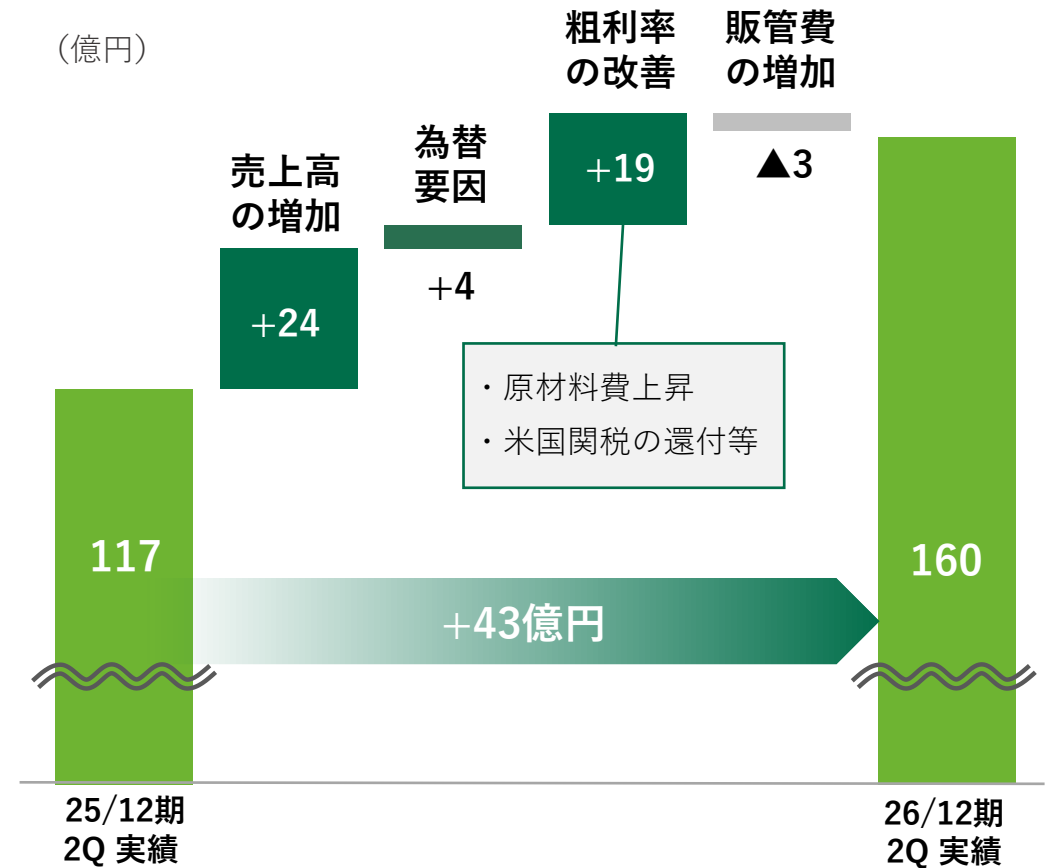
地域	前年同期比
国内	+5.4%
米州	▲32.6%

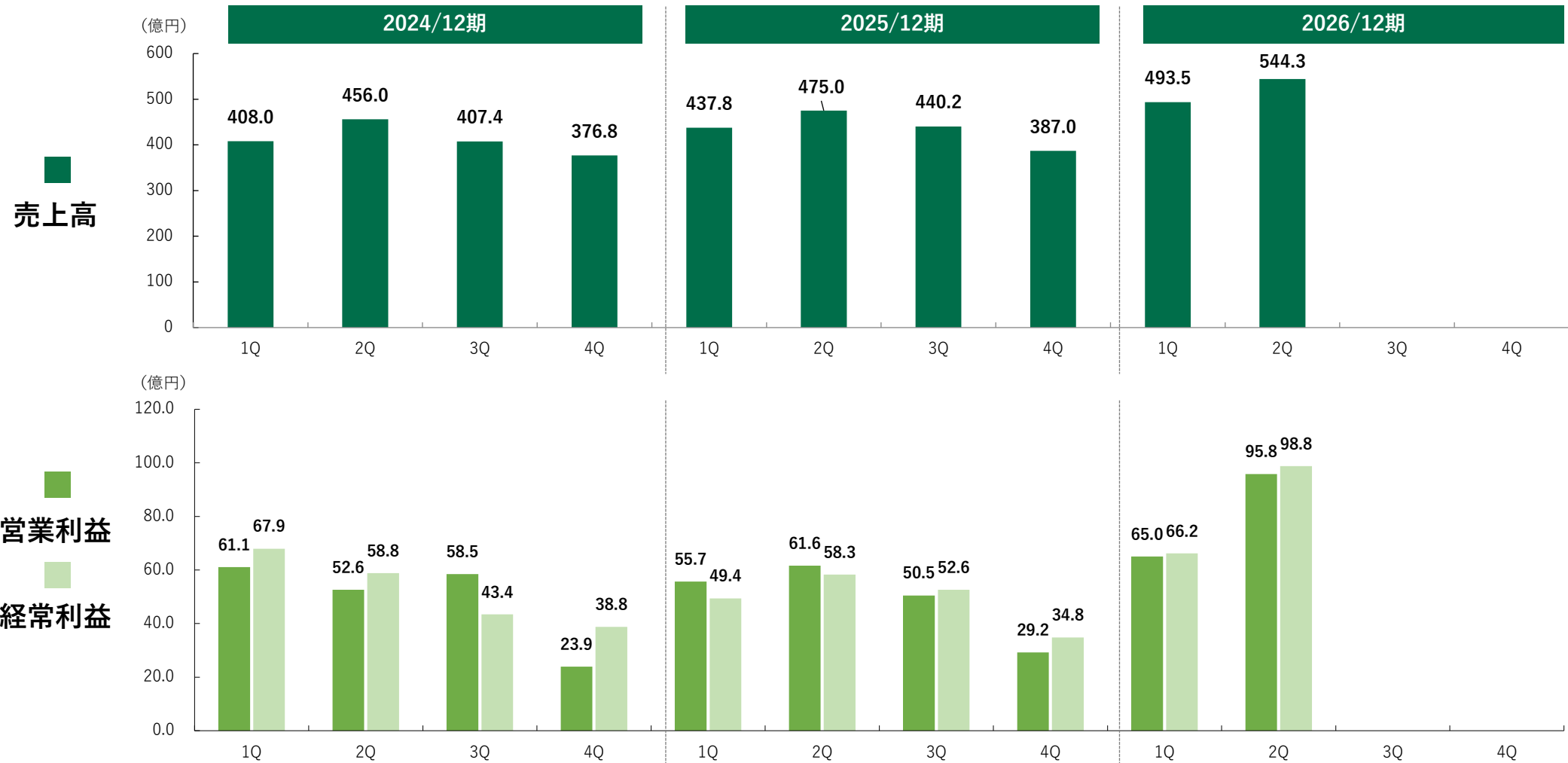
※海外地域の前年同期比は為替影響を除く

売上高



営業利益





2

2026年12月期 業績予想

- 3Q以降の想定レートを1USドル：155円（前回150円）、1ユーロ：180円（前回175円）に見直し、通期予想を前回公表時から上方修正。
- 売上高1,900億円、営業利益230億円、経常利益230億円、当期純利益165億円の見通し。
- 売上高は、想定為替レートの見直しに加え、北米におけるOPEおよび一般産業用機械の販売が好調に推移していることを織り込む。
利益面は、米国関税の還付等による原価率の改善により増益を見込む。

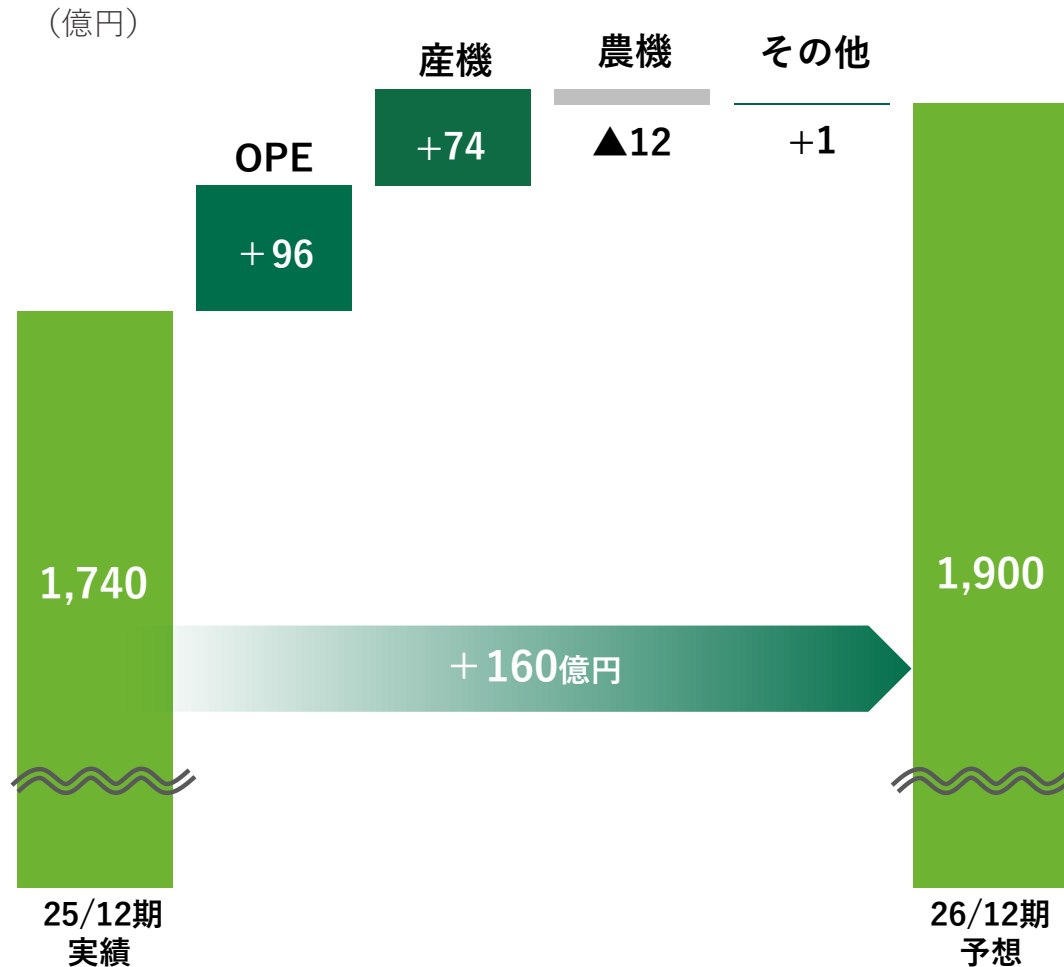
(百万円)		25/12期 実績	構成比 (%)	26/12期 予想	構成比 (%)	前年比 (%)	26/12期 前回予想 (5/14公表)
売上高		174,020	100.0	190,000	100.0	+9.2	185,000
	売上原価	115,694	66.5	124,500	65.5	+7.6	122,500
	販管費	38,603	22.2	42,500	22.4	+10.1	41,500
営業利益		19,722	11.3	23,000	12.1	+16.6	21,000
経常利益		19,537	11.2	23,000	12.1	+17.7	20,000
親会社株主に帰属する当期純利益		14,444	8.3	16,500	8.7	+14.2	15,000

為替レート

通貨	25/12期	26/12期 予想
1ドル	150 円	155 円
1ユーロ	169 円	180 円

2026年3Q-4Qの為替影響
(1円変動/円安:+, 円高:-)

通貨	売上高	経常利益
1ドル	± 3.8 億円	± 0.4 億円
1ユーロ	± 0.6 億円	± 0.7 億円



小型屋外作業機械(OPE)

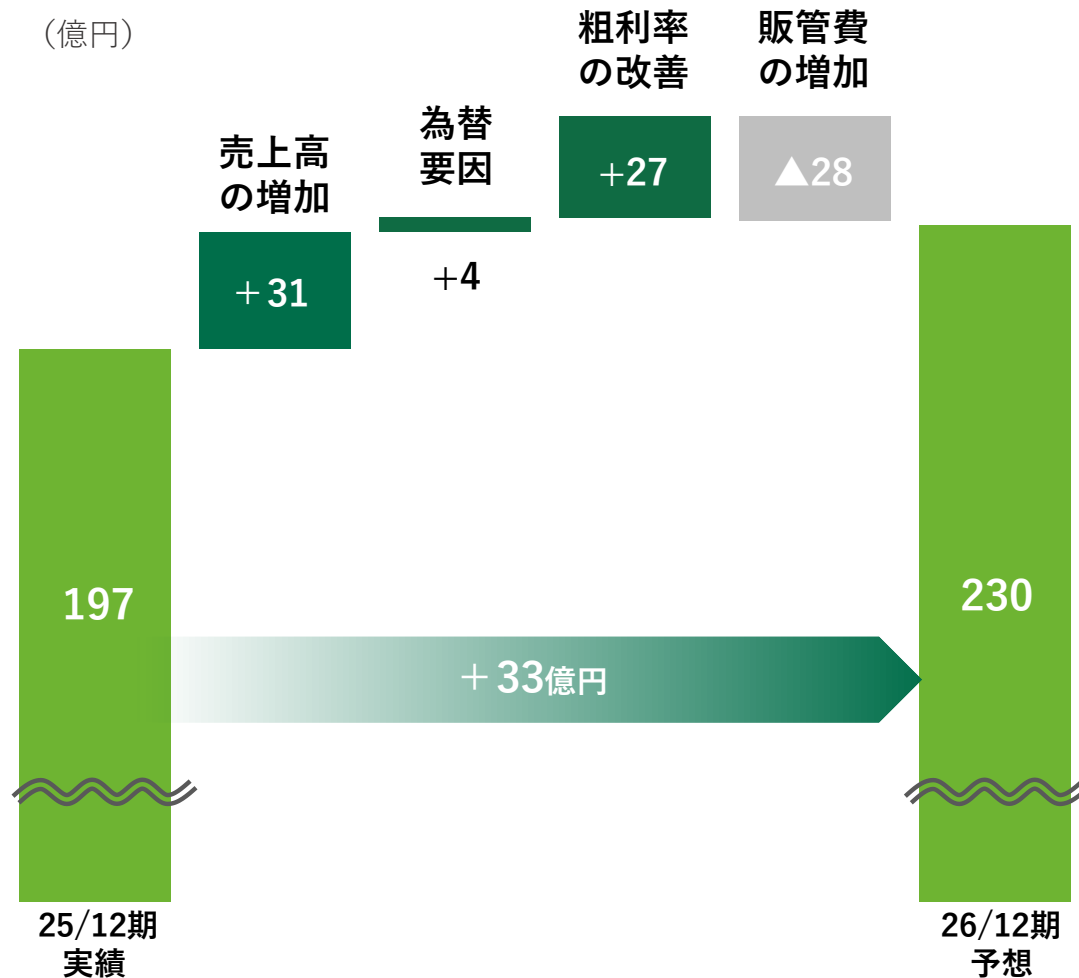
持続的成長を続ける北米市場において、特にホームセンター向けを中心に堅調に推移するほか、欧州でもロボット芝刈機をはじめとしたOPE製品の好調な販売継続により売上増加を見込む。

一般産業用機械(産機)

北米市場において、現地レンタル会社向けの販売が好調に推移していることに加え、昨年取得した投光機事業による販売増加を見込む。

農業用管理機械(農機)

引き続き北米における穀物価格の低迷等を背景に、農業従事者の設備投資意欲が低下しており、減収の見通し。



売上高要因

為替の影響を除いた実質売上高の増加による利益増。

為替要因

前期実績に対しての円安想定（主にユーロ）による利益の増加。

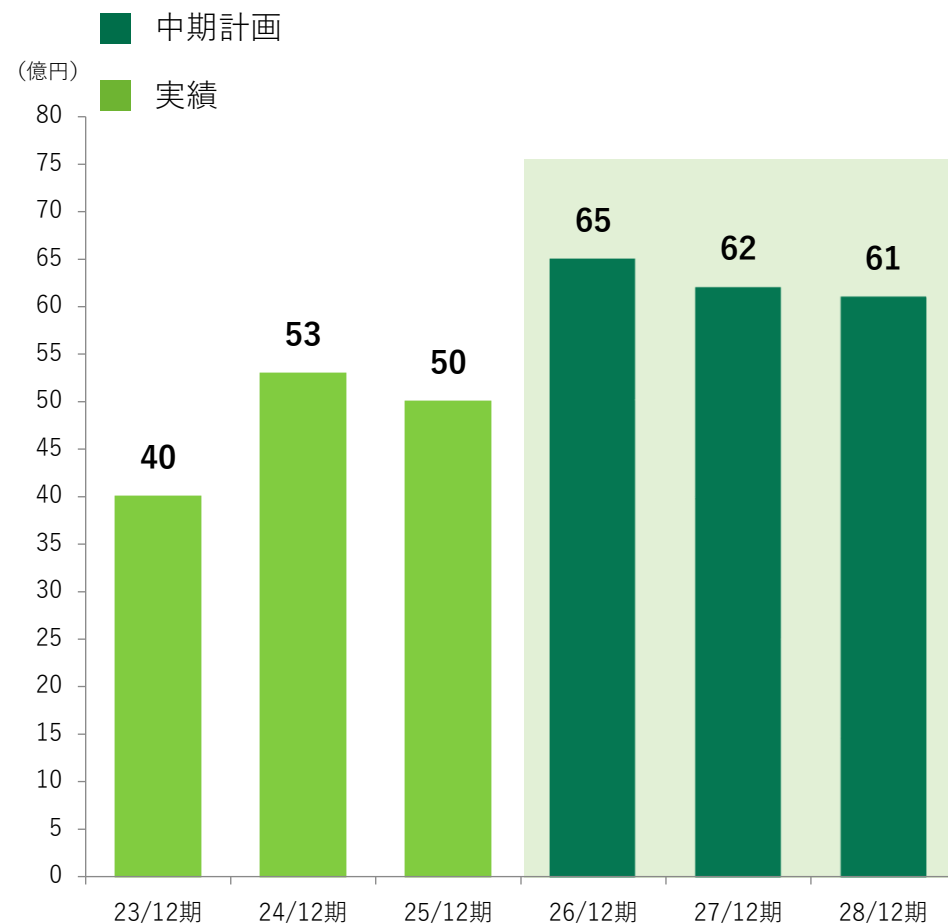
粗利率

材料費等のコスト上昇や米国関税影響を受けるも、昨年実施した価格改定効果や収益性の高いロボット事業拡大が寄与。米国関税還付も織り込む。

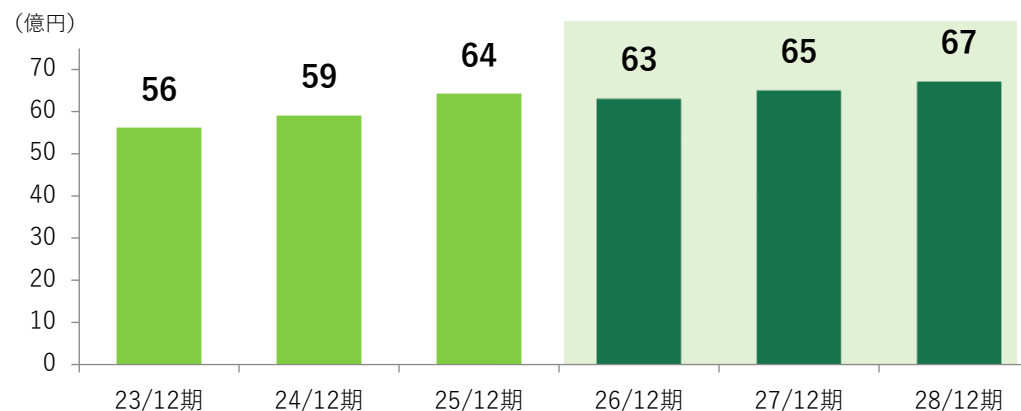
販売管理費

人的資本投資やIT投資、研究開発費（新規事業等）、マーケティング費用等の販管費の増加を見込む。

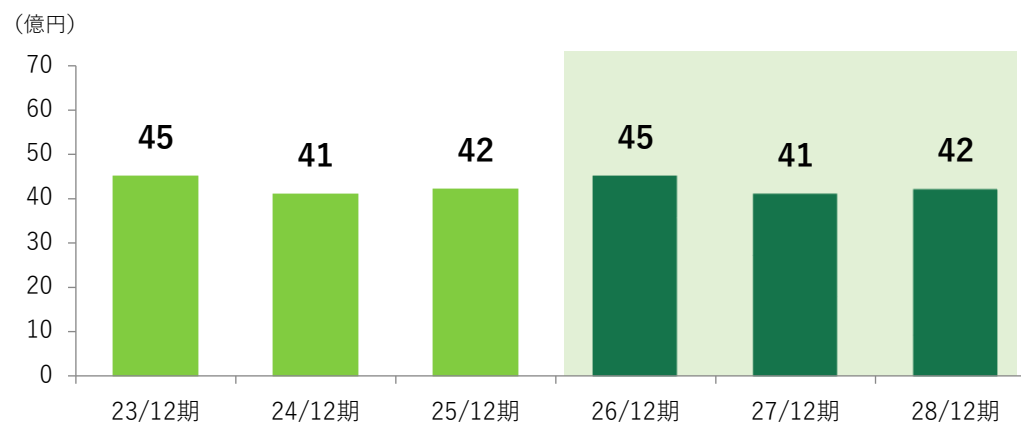
設備投資



研究開発費

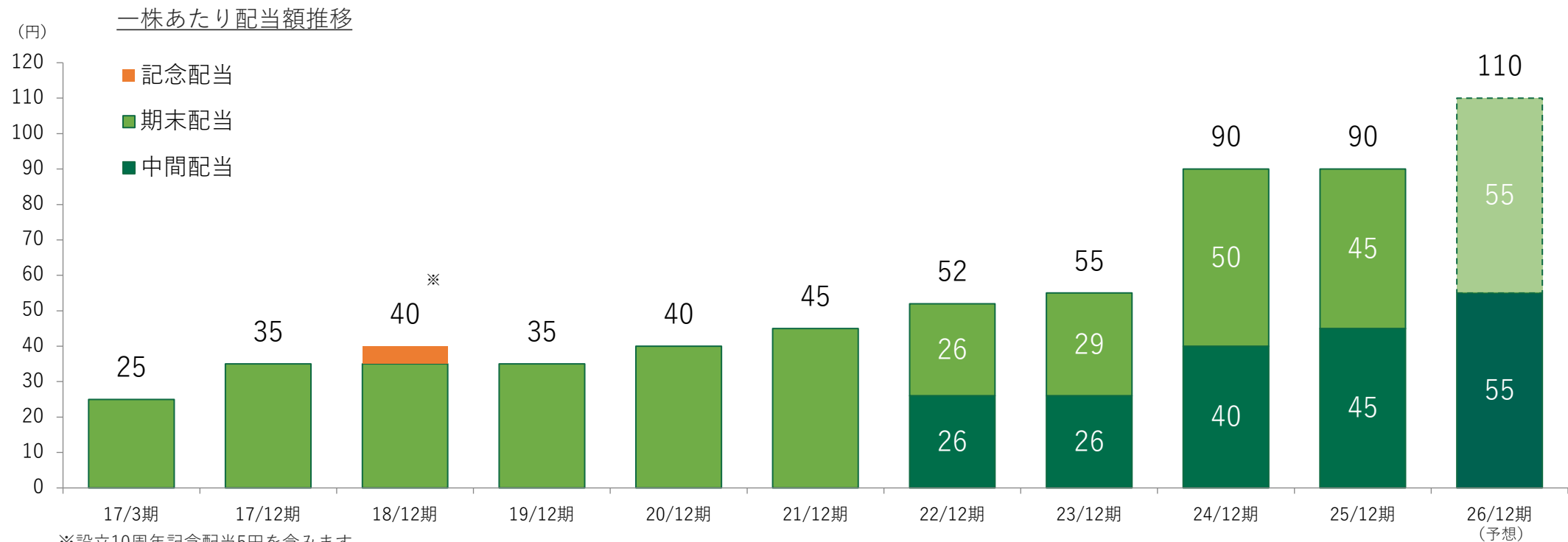


減価償却費



配当性向30%を目安に、過去の配当実績に基づいた安定的な配当を継続

- 成長投資の進捗状況や財務状況等を勘案するとともに、株式市場の動向も注視し、自己株式の取得を含めた総合的な還元策を検討
- 26/12期の配当は中間・期末ともに55円とし、年間110円（前期比20円の増配）の予定
- 通期業績予想は上方修正したものの、期末配当予想は現時点で据え置き。今後の業績動向や通期実績の確定を踏まえ、最終配当額を決定する



フランス販売代理店の子会社化 ～欧州事業拡大に向けた販売体制を強化～

- ✓ 欧州事業拡大施策の一環として、フランスの販売代理店PPK社を子会社化
- ✓ 迅速な意思決定とグループ一体運営により欧州事業の成長を加速

■概要

- ・ 1965年に当社前身(株)共立との取引開始以降、60年以上にわたる中核的パートナー
- ・ 当社の欧州最大販売地域であるフランスの販売基盤を強化
- ・ 顧客ニーズを把握し、販売戦略の精度向上、製品開発へのフィードバックを強化

■PPK

名称	ETABLISSEMENTS P.P.K.
所在地	フランス アルジャントゥイユ市
代表者	CEO Philippe Klomp
事業内容	小型屋外作業機械の販売
設立年月	1943年12月



1987年 販売台数100万台



1990年 代理店会議



2003年 盛岡事業所訪問

北米におけるマーケティング活動の強化

- ✓ 今秋、MLBポストシーズンにおいてECHOブランドのテレビCMを放映



- ・ ホームオーナー向けにECHOの56Vバッテリー製品を訴求
- ・ MLB、ESPN、デジタル広告等を活用した認知拡大を推進

人と自然と
未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、
世界最高レベルの環境技術と安全・安心で革新的な良く働く機器とサービスで、
社会と人々に信頼と感動をもたらし、期待され、
豊かな自然と共生する輝く未来創りに貢献します。

APPENDIX

会 社 名	株式会社やまびこ（YAMABIKO CORPORATION）
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	174,020百万円（2025年12月期連結）
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	12月31日
連 結 子 会 社 数	14社※（国内6社・海外8社／2025年12月末現在）
従 業 員 数	2,945名（2025年12月末現在／連結）
上 場 市 場	東京証券取引所プライム
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株（2025年12月末現在）
単 元 株 式 数	100株

※持分法適用関連会社1社を除く



世界初となる手持ちブロワに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発

KIORITZ **ECHO**

E 株式会社 **共立**

設立 1947年（昭和22年）

新タイワ工業株式会社

設立 1952年（昭和27年）



電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発

shindaiwa



2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立

KIORITZ **shindaiwa** **ECHO**

YAMABIKO

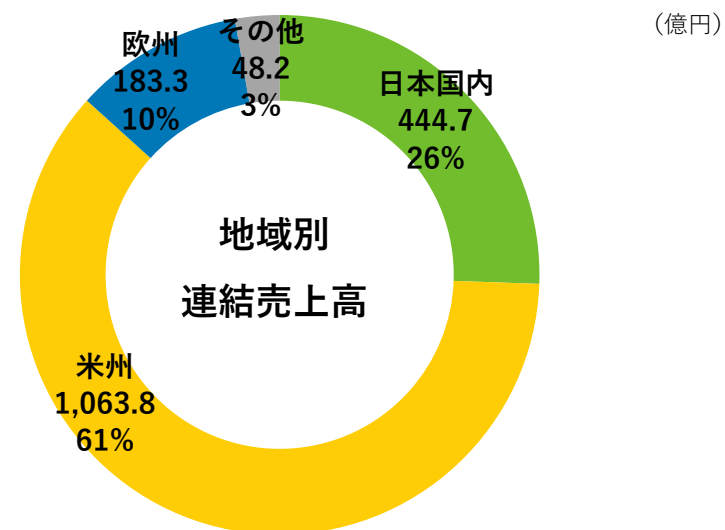
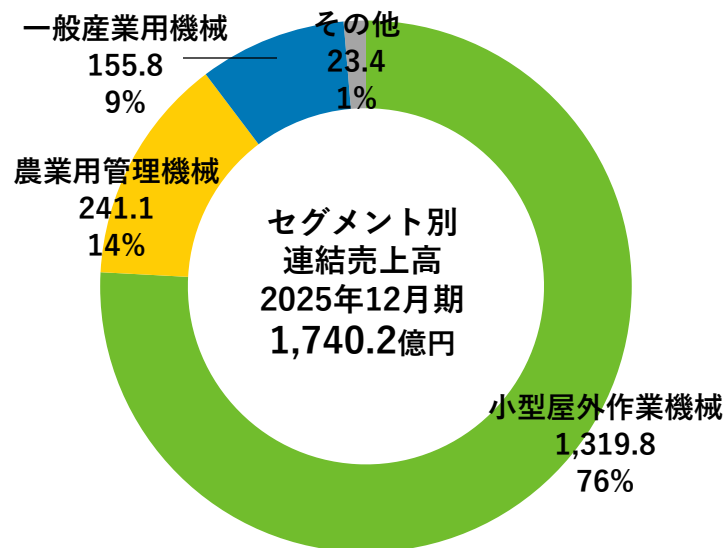
株式会社やまびこ

設立 2008年（平成20年）

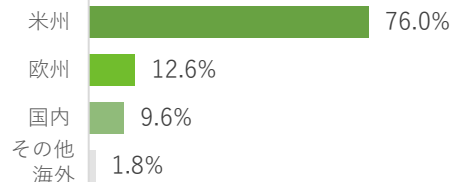
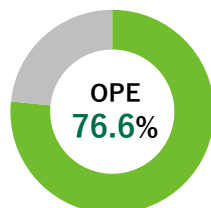
社名の由来

山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする

売上高・営業利益推移



売上高・地域別構成比
(2026年12月期 第2四半期)



国内は農家・林業家の芝刈や伐木用として、海外はOPE※と称され、主に緑地管理を事業とする専門業者が庭や緑地の管理に使用する作業機として販売

海外においては造園業など緑地管理を事業とする専門業者向けのプロユーザー市場と主に自家用で使用する住宅所有者向けの一般ユーザー市場に分類

製品は動力源にエンジンやモーターを搭載した屋外作業機のほか、ロボット芝刈機も含む



市場ニーズを満たす製品開発力

- 動力源を問わず、プロユーザー向けの高い作業効率を持つ製品を開発



技術的な強み

高品質・環境規制に適合したエンジン

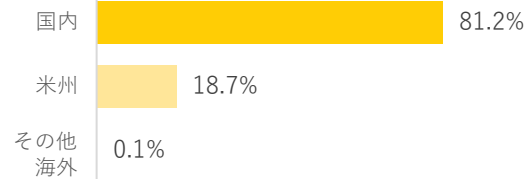
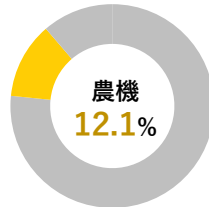
- 小型・軽量・高出力(手持機械に最適)・低コスト
- 環境対応エンジン認証数、業界トップクラス

環境負荷低減と作業性の両立

- プロサイドに立った出力・制御技術に優れる電動製品
- 化石燃料から代替燃料への適用技術

※Outdoor Power Equipment

売上高・地域別構成比
(2026年12月期 第2四半期)



国内は、水田・畑作・果樹・畜産など様々な作業現場で用いられる防除機械や、省人・省力化に寄与する作業機を製造販売
北米においては、農作物収穫機械を製造販売



乗用管理機



ラジコン草刈機



スピードスプレーヤ



ポテト収穫機（北米）

技術的な強み

培った防除技術にICTを融合し、スマート農業に貢献

送風技術・噴霧技術・散布技術

- 水田、畑作、果樹、施設栽培などあらゆる栽培体系において均一散布を実現
- 低騒音・大風量を実現する送風システムを開発
- 農薬飛散を低減させるやまびこノズルの自社開発

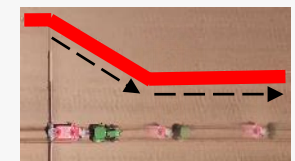


やまびこノズルの噴霧状態（扇形状）
(平均粒子径 110~270 ミクロン)

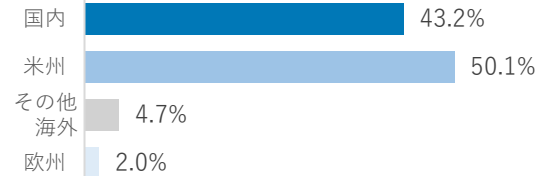
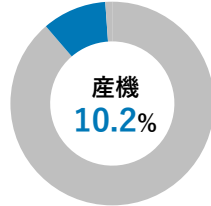


ICT

- 世界標準の通信技術（ISOBUS）を用いて、トラクタと相互通信
- 全球測位衛星システム（GNSS）により圃場内に適正な量の農薬を適正な場所にムダなく散布
- 設定した圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術



売上高・地域別構成比
(2026年12月期 第2四半期)



建設工事・防災・減災のほか
資源採掘現場やイベント会場等で用いられる機械の
製造販売



マルチハイブリッドシステム

太陽光発電・蓄電池・発電機
3つの電力源を組み合わせた
環境配慮型発電システム



発電機



投光器

技術的な強み



世界初の三相/単相3線
切替なし同時出力可能
(米国特許・国内特許取得済み)



「ダブルECO」
低燃費・騒音排出ガス効果に優れ
た2つのエコ機能の開発



グループの成長を牽引するグローバルブランド

- ✓ 世界最大のOPE市場である北米において50年以上の歴史を誇る
- ✓ プロの緑地管理業者(ランドスケーパー)から高い信頼を獲得するグローバルブランド

8,500店
北米販売網

90%
プロ認知度※

46%
プロ使用率※

※ECHO Brand Health Study (conducted by The Farnsworth Group, April 2026.)

■ECHOブランドで展開するOPE製品



ハンドヘルド(手持ち)製品



車輪付き製品

■ECHOブランドで展開する産機製品



国内農業市場を支えるプロ向けブランド

- ✓ 国内の農業現場で長年支持されるブランド
- ✓ 刈払機や防除機において高い耐久性と作業性を実現



建設・土木市場を支えるプロ向けブランド

- ✓ 国内外の建設・土木現場を支える発電機・溶接機を展開
- ✓ 林業用チェーンソー分野で林業家から高い信頼を獲得

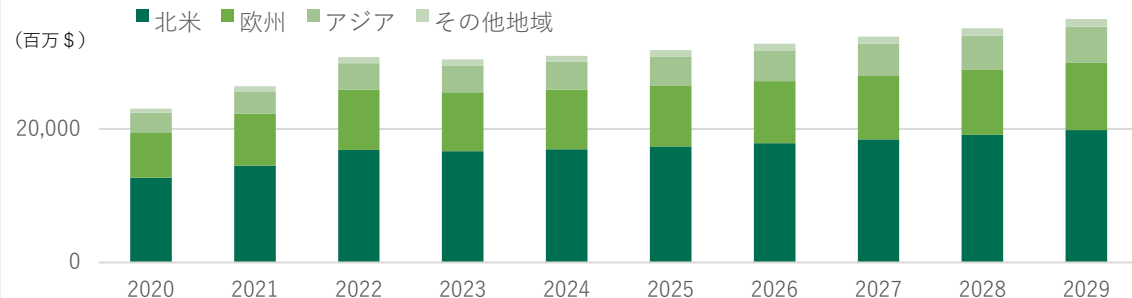


■ブランド別の主な市場と顧客

ブランド	主な市場	主な顧客
ECHO	海外市場	ランドスケーパー
KIORITZ	国内農業市場	農家・農業法人
shindaiwa	国内建設・土木市場	建設業者・レンタル会社

全地域市場※1

地域別の市場規模



OPE製品

市場規模 約 320 億 USドル
(2025年見通し)

ハンドヘルド(手持ち)製品



ユーザー別 構成比※1

一般ユーザー

・ホームオーナー



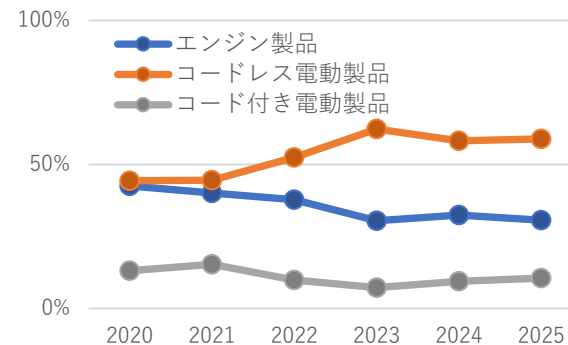
プロユーザー

・行政、緑地管理業者
(ランドスケーパー)など



北米市場

動力源別 構成比※2



■市場概況

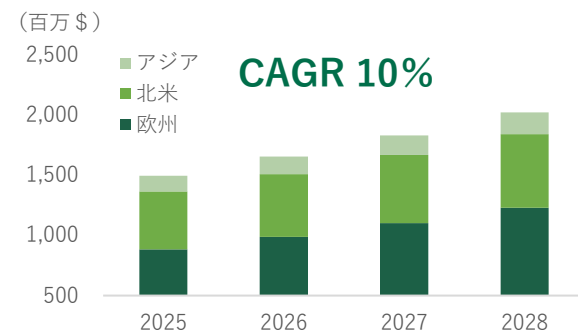
- ・ OPEの世界最大市場
- ・ 電動化の進展は一服感
- ・ エンジン製品の底堅い需要が継続

■事業戦略

- ・ プロ向け製品の拡販
- ・ ブランド力を活かした市場深耕

欧州市場

ロボット芝刈機の市場規模※1



■市場概況

- ・ 北米に次ぐ世界有数のOPE市場
- ・ 環境意識向上を背景に電動化が進展
- ・ ロボット芝刈機市場の普及が先行

■事業戦略

- ・ 販売網強化によるプレゼンス向上
- ・ ロボット芝刈機の拡販を推進

(出典) ※1 Markets & Markets レポート「Outdoor Power Equipment Market」より当社作成 (対象：全地域)
※2 OPEIデータより当社作成 (対象：北米地域)

生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造
（機械加工・塗装・組立等）
農業用管理機械の製造（板金・塗装・組立等）

※ 大型防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達



生産本部 広島事業所

発電機・溶接機・電動工
具の製造（組立等）

※ 発電機等の搭載エンジンは
他メーカーからの調達



生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造
（ casting・金属処理・機械加工・組立等）



生産関連子会社

- ・ 追浜工業株式会社（横須賀市）：電装部品
- ・ 双伸工業株式会社（青梅市）：樹脂部品
- ・ 株式会社ニューテック（長野市）：試作部品
- ・ やまびこエンジニアリング株式会社（安芸高田市）：板金加工

- 生産事業所
- 生産子会社



やまびこヨーロッパ・エス・エイ

(ベルギー ブラバン・ワロン州)

ロボット芝刈機の製造

クレイリー・インダストリーズ

(アメリカ ノースダコタ州)

チップーシュレッダー・大型農業機械
等の製造

クイック・プロダクツ・インク

(アメリカ アリゾナ州)

当社製品のアクセサリ等の製造

やまびこベトナム

(ベトナム ホーチミン市)

一般産業用機械の部品製造

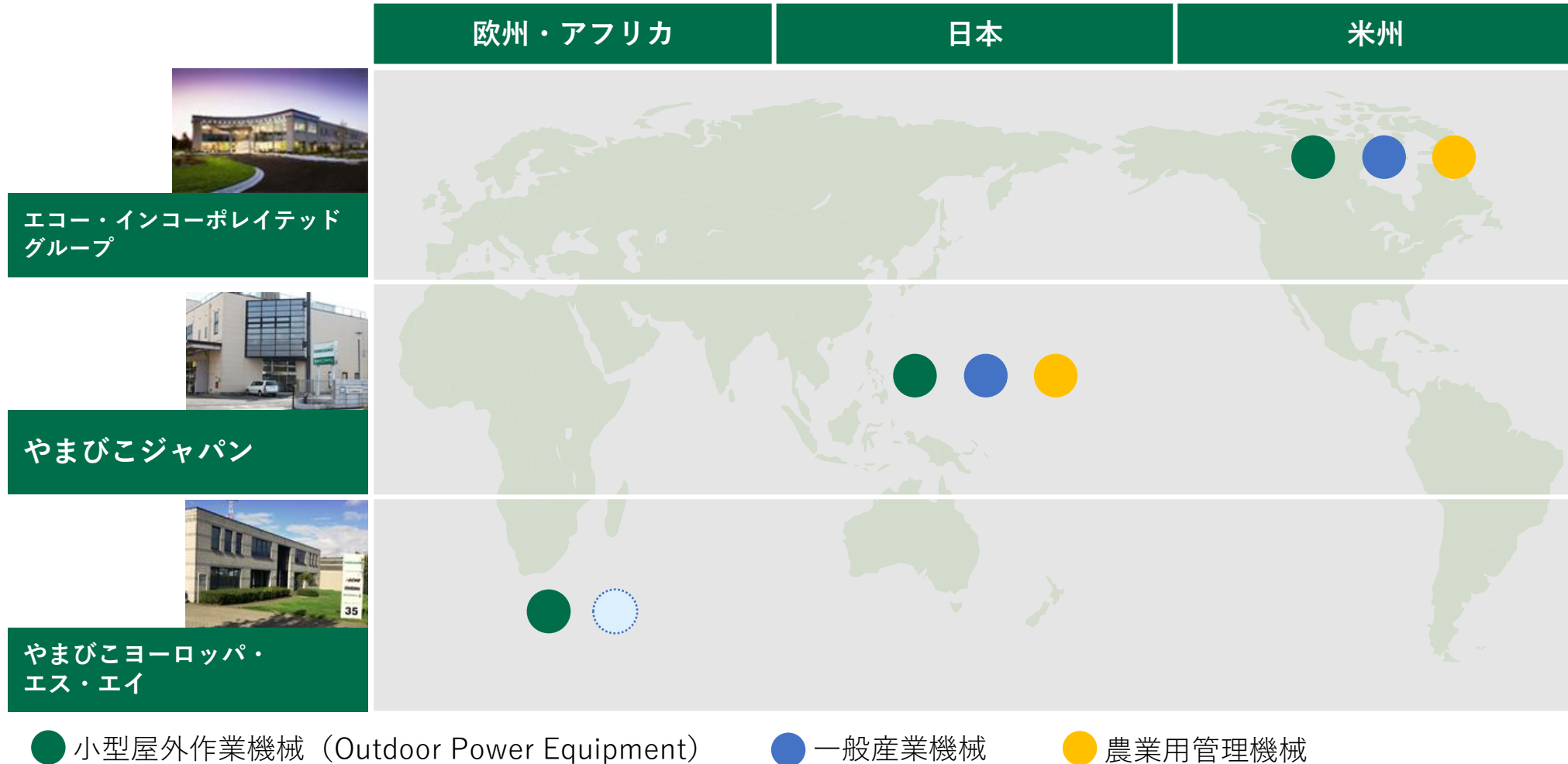
**エコー・
インコーポレイテッド**

(アメリカ イリノイ州)

小型屋外作業機械の製造

※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給





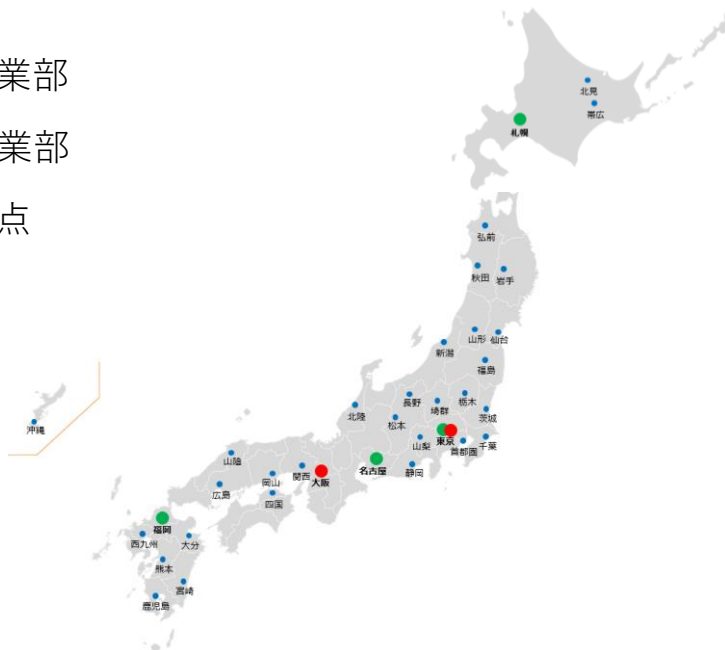
※アジア・中東・オセアニア地域にはやまびこ本社から販売

やまびこジャパン株式会社

会社名 やまびこジャパン株式会社
設立 2017年6月
本社 東京都青梅市
拠点 6営業部 36拠点

国内販売拠点一覧

- 農林営業部
- 産機営業部
- 営業拠点



日本市場における販売拠点

多様な販売ルートと充実の営業体制で
3事業3ブランドの販売を担う

充実した営業体制

- ・ 共立・新ダイワ・エコーの3ブランドを販売
- ・ 国内6営業部、36拠点の充実した営業体制
- ・ 全社員の7割が営業・サービスに従事

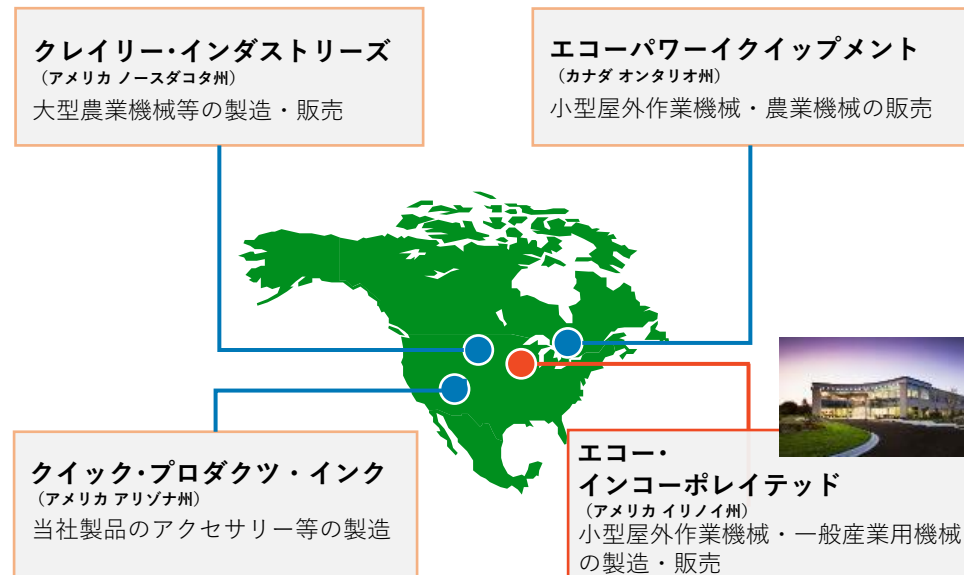
セールス＝エンジニアとして迅速なサービス提供

- ・ 高い専門性を有する社員がアフターサービスまで一貫して対応
- ・ 農機具販売店やホームセンター、建機レンタル会社などの幅広い販売ルートを通じて多くのお客様に製品を提供



会社名 エコー・インコーポレイテッド
 設立 1972年11月
 本社 アメリカ・イリノイ州
 子会社 2社

エコー・インコーポレイテッドグループ



米州で50年続くECHOブランド

OPE・産業機械・大型農機用補助機の製造・販売拠点

やまびこグループ最大の販売会社

- 1972年の設立以来、米州市場で小型屋外作業機械を販売グループ売上高の6割を占める（2025年実績）

OPE市場をリードするECHOブランド

- パワーブロワ（1978年）や芝生の溝切機（1990年）など 世界初となる製品を投入し常に市場をリード
- 「Xシリーズ」をはじめプロユーザーから信頼を集める



世界初のパワーブロワ



プロ向け製品群「Xシリーズ」

YAMABIKO EUROPE SA

会社名 やまびこヨーロッパ・エス・エイ

設立 2002年3月

本社 ベルギー・ブラバン・ワロン州

欧州地域の販売拠点

欧州・アフリカの34か国に販売



やまびこヨーロッパ・エス・エイ

自動芝刈機の製造・販売
および小型屋外作業機械の販売

欧州地域のOPE販売とロボット開発拠点

2021年に完全子会社化 欧州販売戦略を推進し売上拡大を図る

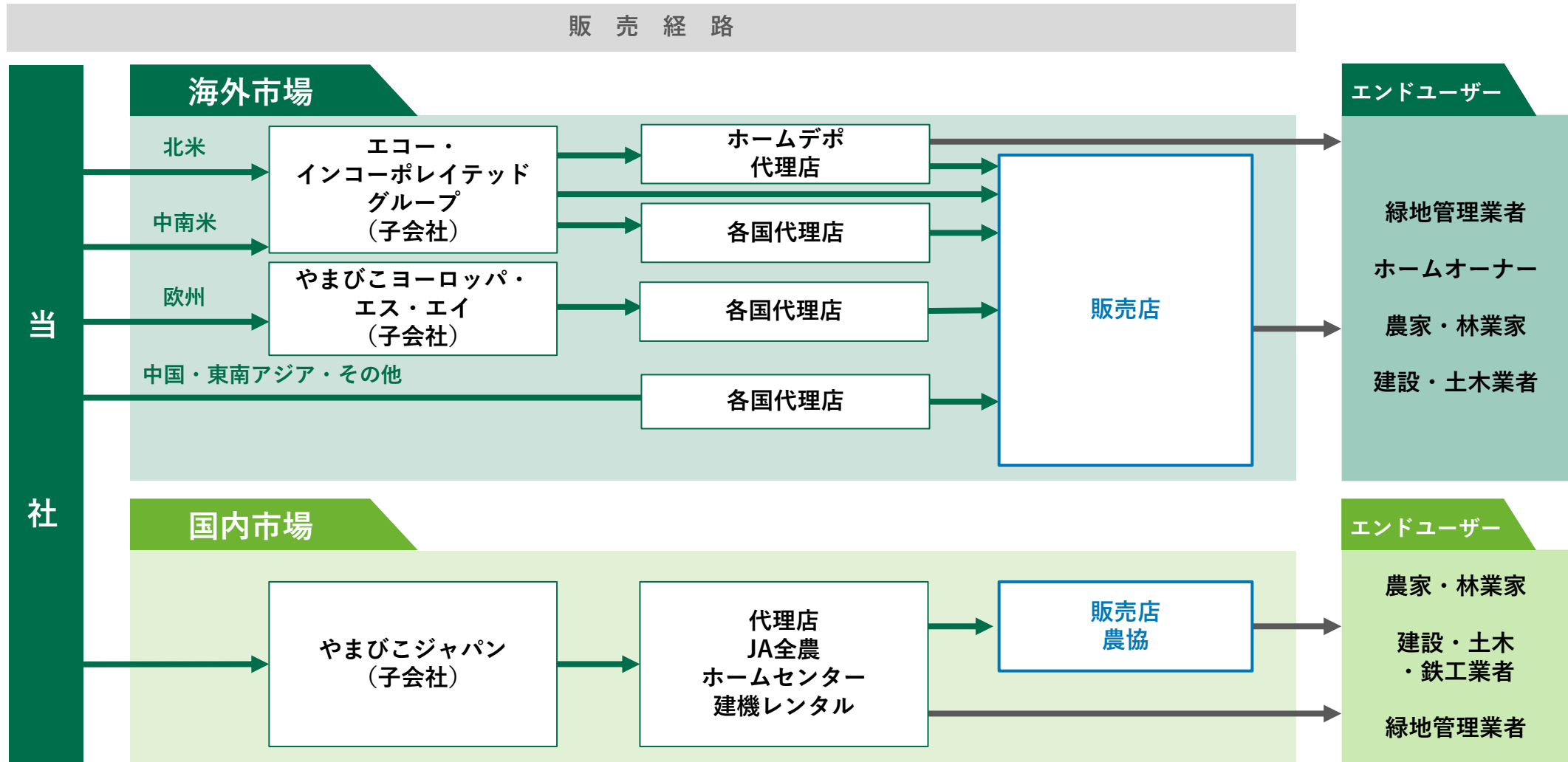
ベルギーから欧州全域へ展開

- 欧州・アフリカの34か国でOPE製品を販売
- 統一した販売戦略と代理店・販売店サポートにより
更なる売上拡大を図る

お客様の声を取り入れた開発・販売体制

- ロボット芝刈機の普及が進む欧州でマーケットインの開発を行い、業界をリードするロボット芝刈機を開発・販売





この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問い合わせ先

株式会社 やまびこ 企画・経理本部 経営企画部

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2

e-mail : ir6250@yamabiko-corp.co.jp